まるっと蒲田NEWS

2025年 8月号

CTとMRIの違い

CTとMRIは見た目がとてもそっくりで、どちらも撮影部位の断面像を撮影しています。
しかしながらCTとMRIは互いに全く違う性質を持っています。
その性質によって生じる違いについてご紹介します！

1 被ばく

CTではX線、MRIは磁場と電磁波を使用しています。そのため、CTでは被ばくがありますが、MRIでは被ばくをすることはありません。



2 撮影時間

CTは、X線が撮影部位を360°回転しながら撮影します。それに対し、MRIは検査対象部位からの信号を収集して撮影を行い、これらの信号の収集には時間を要します。
よってCTに対してMRIでは時間を要します。



3 金属

CT、MRIともに金属は外しますが、CTでは金属がある場合でも撮影を行うことは出来ます。しかし、金属のある部位周辺の画像が乱れるため可能な限り外して撮影を行います。
MRIでは強力な磁石を用いているため、金属を持ち込むことはとても危険です。ですが、体内にある金属ではMRI対応となっている撮影可能なものもあります。

改めて知ろう

マンモグラフィ検査



マンモグラフィ検査とは、、
X線を用いて乳がんや乳房病変の
早期発見などを目的として行われる
検査です。

検診では40歳以上の方に推奨されています。

気になるマンモグラフィ検査のあれこれ

01 なぜ乳房を圧迫をするの？

乳房を薄くすることで乳腺の重なりを無くし、病変を
見つけやすくする ため、さらに 被ばくの低減 を
目的としています。
また、抑えることによって体の動きによる
画像のブレを無くす ことが出来ます。

02 被ばくってどうなの？

私たちは生活する中で宇宙や大地からの放射線を年間
約2.4mSvを常に浴びています。検査ではこれに対して
とても少ない線量を用いており、大きさや厚さなどにより
個人差はありますが、発がんなどの身体に影響のある
線量ではありません。

乳がんは早期発見による早期治療によって治癒率が 高い病気
です。ですが、初期の乳がんには 自覚症状が出にくい と言われて
います。その為、自覚症状が無くても定期的な検診をしましょう！

JCHO東京蒲田医療センター
〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-19-2
TEL：03-3738-8221（代表）
FAX：03-5744-3280（地域連携室）